

群青

仙台市立第一中学校

第2学年だより

第15号 2023.10.17

アスリートの言葉

足りなかったとは思わないが、届かなかった

稲垣 啓太（2023ラグビーワールドカップ日本代表）

一中での生活、後半戦のスタートです



W杯ラグビー予選、日本代表チームの予選敗退が決まったのは、日本時間で8日夜のことでした。2大会連続、海外開催で初となるベスト8進出は叶わず、日本中が悔しい思いに包まれました。

私がラグビーを好きになったのは、学生時代に同級生の試合を見に行ってからです。目の前で繰り広げられる屈強な体と体のぶつかり合いもさることながら、判定に何のクレームもつけず次のプレイに向かう潔さ、ノーサイド後、少し前まで全力でぶつかっていた相手と互いを讃え合う清々しさに心を奪われました。

そこに、8年前から始まった日本代表チームの快進撃。以前は、敗戦の連続でしたが、2015年イングランド大会で当時世界ランキング3位だった南アフリカを破る「ジャイアントキリング」を成し遂げました。続く2019年日本大会では、アイルランド、スコットランドといった強豪を破りグループ1位突破、ベスト8入りを果たし「世界との差」は着実に縮まってきました。それを裏付けるのは、世界一を目指して行われてきた「世界一過酷な練習」。目標に届かず一番悔しい思いをしているのは選手やスタッフなのでしょう。

私は、戦いを終えた選手たちのコメントが大好きです。彼らでなければ語るこのできない深い感想に心を揺さぶられ、彼らの人としての大きさに敬意をいします。

稲垣選手は「悔しいけれど彼らの方が強かった」「アルゼンチンには、必ず優勝してほしいと思います」とも。

還暦を過ぎましたが、子どもたちと共に「やるだけやった」と言えるような時間を過ごしていきたいと改めて思いました。

始業式 学年代表発表「2学期の目標」



学年代表 三組 M・S

中総体や野外活動があった一学期も終わり、中学校生活も残り半分になりました。一学期は、学年委員を務め学年や学級をまとめる立場に立ち、ソフトボール部では部長に選出されるなど充実した日々を送ることができました。しかし、課題はまだあります。

一つ目は部活動です。先日行われた新人戦で、私の所属するソフトボール部は一勝もできずに終わってしまいました。守備もバッティングも本来のプレイができず悔しかったです。私は途中からピッチャーとして登板しましたが、コントロールが定まらず課題を残しました。これからは日も短くなり、練習時間も少なくなります。日々の練習を内容の濃いものにしなければなりません。そして、来年の中総体では必ず県大会への出場を果たしたいと思います。

二つ目は、生活リズムを整えることです。今までは部活動・学業・習い事の両立がうまくできず、就寝時間が十二時を越えることが当たり前になっています。その結果、疲れが回復せず、授業に集中できず、また、体の疲れも取れなかったりと生活に支障が出ていると思っています。

まずは、これから日付が変わる前に就寝することを目標に、時間を効率よく使うことを心がけていきたいと思っています。この二つの達成を目指し、これからの生活をより充実させていきたいと思えます。

「よい流れ」は自分たちでつかむ！ 市新人大会が終わりました

好天に恵まれ、全競技、予定通り日程を消化しました。残念ながら、ソフトボール競技以外の子どもたちの奮闘を見ることは叶いませんでしたが、職員室の電話が鳴る度に届く結果を聞き、子どもたちの健闘を喜んでいました。初戦敗退から優勝まで戦績はいろいろありましたが、私は大会に至るまでの過程を含め、「全力で向かったかどうか」「力を出し尽くしたかどうか」が一番の関心事であり、子どもたちにはそのことを振り返ってほしいと思っています。当たり前のことですが、試合は自分の思い通りに展開することはほとんどありません。苦しい場面の連続です。そして、そんな時に頼れるのは結局自分しかいないということも分かったのではないのでしょうか。となれば、「心・技・体」を普段の活動の中で高めていくことが必要不可欠です。日々いつも誰かに頼ってばかりいる姿勢では、いざというときに力を発揮することはできません。

そして、サッカーでよく言われる「OFF THE PITCH (ピッチ以外の場面)」。部活動以外の場面でも自分を高めることができるし、努めることが必要です。「よい流れ」は勝手に舞い降りてくるものではありません。自分でつかむものだと思います。そのことを、これからも子どもたちと追求していきたいと思っています。

そしてその裏で…

新人大会中、技師の富士原さんと平泉さんが昇降口をきれいに掃除し、ワックス掛けしてくださいました。

生徒の皆さん、いつも、私たちの知らないところで私たちを支えてくださっている方がたくさんいることを思い出してください。私たちは、いつもたくさんの方々から支えていただいていますね。



「一中生の活躍見えますよ」

新人戦日程を終え、職員室勤務をしていた8日の日中、龍寶寺にお墓参りに来ていた女性と言葉を交わしました。「私の夫(故人)と、2人の子どもたちが一中の卒業生です」「毎月のお便りで、一中生の活躍を見るのが楽しみです」とおっしゃっていました。それに対し、私も「一中生はととてもよく頑張っていますよ」とお応えしました。

事前にマナー講座を実施します 職場体験に向けて

来月7日(火)6校時(14:45~15:35)職場体験の事前学習の一部として、外部より講師の先生をお招きし、マナー講座を実施します。職務上、いろいろな方々と接する機会があると思いますが、職場体験のみならず、今後いろいろな場面で必要となるスキルを伝授いただくことになっております。本校体育館にて実施しますので、保護者の皆様にもお越しいただければと思います。

キャリアデザイン実践研究所代表 木須 紀子先生

旅行会社で商品企画開発・仕入手配・人材教育・販売促進・営業を担当し、各地の魅力を商品化すること14年。のちにホテル支配人となりTVショー「料理の鉄人」に料理人を出演させた後、「食」の開発や「町おこし」のコーディネートを請けおう。

また、大手旅行会社と山形県がタイアップした旅行プランニング企画に応募し、学生指導を行った結果、大学生・短大の中、専門学生が大賞・特別賞を受賞。学生の作品が一般発売されたこともある。旅行会社で得た「商品開発力」と支配人時代の「人材育成・管理力」は現在の企業研修・キャリア指導の礎となっている。常に学生の学びが将来「会社や誰かの役に立つ人」になるべく指導中。また、自身では、サービス業界の「おもてなし」を社会心理学や行動科学の見地から人間関係に即した講座を実施し、コミュニケーションの基本的な考え方とその応用として状況に応じた的確な対応をとるための実践力を学校・企業で指導中。同時にキャリアカウンセラー、キャリアコンサルタントとして就職支援全般の授業や相談業務に携わり日本人・留学生の就職支援を行う。

現在、心理の理論を深めるため福祉大学 福祉心理学科に在学中。

キャリアカウンセラー歴(16年) 講師歴(28年)



スポーツフェスティバルにお越しください

来週24日(火)、本校のグラウンドでスポーツフェスティバルを実施します。昨年度に引き続き、全学年合同での実施になります。昨年度は、保護者の皆様をお招きできず大変申し訳ありませんでした。本年度は、昨年度のような制限はございませんので、平日ではありますが子どもたちの奮闘ぶりをご覧いただきたいと思っております。

主な種目は、[全員リレー][選抜リレー][すずめ踊り][学年種目(ムカデ競走&背渡り)][長縄とび]です。子どもたちとともに、スポーツの秋を満喫したいと思います。

